

めざす子ども像… 豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども
自分の考えや良さを言える子ども
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



2学期の始まりに…



夏休みが終わりました。学期の始め、特に長い休みを終えた2学期の最初の数日間は、子どもたちがどんな顔をして登校しているか、とても気になります。楽しい思い出をたくさんつくれたかな？いろいろなことを経験して、たくましくなったかな？病気になったり、けがをしたりしていないかな？…そして何より、今朝、気持ちよく目覚めることができたかな？

今日、何事もなかったように登校してくれた子どもであっても、実はその胸の内に様々な思いが秘められていることもあります。もし何か気がかりなことがあったとしたら、心からの笑顔は見せられなかったかもしれません。どこでどんな事故・事件・災害等に巻き込まれるかわからない、不安いっぱいの中です。新型コロナウイルスの感染再拡大も依然として続いています。まずは、大切な友だちと再会できたという“あたりまえ”を、みんなで喜び合うことから始めたいと思います。

今朝、子どもたちを気持ちよく送り出すために心を配ってくださったご家族の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

さて、本日から再び学校生活が始まります。2学期には様々な行事や活動が予定されています。この学期は、子どもたちにとって楽しみが多い時期であると同時に、活躍の場を得る大きなチャンスにもなります。一人ひとりが自分にふさわしい目標をもち、それに向かって努力することによって、成長の糧を得てほしいと思います。

9月の目標「まかされた仕事は最後まできちんと取り組みます」

（『あたりまえ10箇条』・第3条）

「私がやる！」「僕がやる！」何か役割を投げかけたときに強い意欲を示してくれる子どもたちに私たちはしばしば感心させられますが、その勢いで最後までやり遂げられるかという、難しい場合も多いです（ご家庭でも時々あることではないでしょうか）。いろいろなことを任せてもらえるようになるためには、最後までがんばれたという実績の積み重ねが必要です。将来に向けて、子どもたちに責任感を、そして、少々の困難には負けない強い気持ちを身につけてほしいと思います。

☆自然災害に備えて



本日9月1日は『防災の日』です。この日は「台風、高潮、津波、地震等の災害について認識を深める」ことを目的に制定された啓発日です。この夏も、集中豪雨等による災害が各地で発生しました。地球温暖化による気候変動が声高に叫ばれる今日、日本全国どこに住んでいたとしても、災害に対する備えを怠るわけにはいきません。

学校では子どもたちに次のような点について指導いたします。ご家庭におきましても、お子様と一緒に話をする時間をつくっていただければと思います。

- 台風の接近や大雨が予想される時には、不要不急の外出をしない。
- 危険な場所（増水した河川、降雨後の山や崖など）には近寄らない。
- 通学路の危険箇所や登下校時に避難できる場所（公民館や110番の家など）を確認する。
- 日頃から天気予報を見るなど、天候に関する情報に関心をもつようにする。



「人の話を落ち着いて聞くこと」「周りをよく見て行動すること」「誰とでも仲よく接すること」etc. こういった基本的な習慣・行動が身につけていると、いざというときに助かる可能性が高まると思われます。